

第2ステップ

骨格案による市民参加

「第4次基本計画第1次改定(骨格案)」 施策論点集についての意見募集などで寄せられたご意見などを踏まえ、施策の体系、重点事業の選択、各章の基本的考え方、主要事業を示した同計画の骨格案を公表しました(平成27年9月三鷹市議会報告)。

まちづくりひろばの実施：14面① 市の政策について、イベント会場にてシール投票を実施しました。

広報みたか(9月20日発行号)でのお知らせ 市民参加の取り組みの概要を掲載しました。

さんぽきの実施：14面② スマートフォンアプリ「さんぽき」を使って、市の魅力を募集しました。

広報みたか特集号(10月11日発行号)の発行およびアンケート調査の実施：14面③ 骨格案に関する特集号を発行するとともに、アンケートを実施しました。

まちづくり懇談会の実施：14面④ 各コミュニティセンターにて、市の今後8年間の方向性を視野に入れた議論を行いました。

みたかまちづくりディスカッションの実施：14面⑤ 無作為抽出の市民による市民討議会形式の「みたかまちづくりディスカッション」を実施しました。

みたかネットワーク大学による関連講座の実施 専門家と受講者との情報共有を図るため、まちづくりに関する講座を実施しました。

第3ステップ

素案による市民参加

「第4次基本計画第1次改定(素案)」 骨格案への意見を踏まえた全文が掲載された素案を公表しました(平成27年12月三鷹市議会報告)。

広報みたか(1月17日発行号)でのお知らせ 骨格案に寄せられた主な意見を掲載しました。

パブリックコメントの実施 平成28年1月12日から2月1日まで、パブリックコメントを実施しました。

みたかまちづくりディスカッション報告書の提出



実行委員長から市長へ報告書の提出

平成28年3月

「第4次基本計画(第1次改定)」確定

第2ステップ

骨格案による市民参加



まちづくり懇談会



みたかまちづくりディスカッション



まちづくりひろば

第4次基本計画第1次改定(素案)に対するパブリックコメントの結果をお知らせします

1月12日から2月1日にかけて実施した素案に対するパブリックコメントでは、10人の方々から46件のご意見をいただきました。主なご意見とそれに対する市の考え方は以下のとおりです。



- 子育て世代に対する予算配分を大きくしてほしい。
  - ➔重点プロジェクトの1つとして「子ども・子育て支援」プロジェクトを位置付けています。施策の重点化を図りつつ、みなさんからお預かりした貴重な限られた財源を有効に活用し、将来にわたって効果的な取り組みとなるよう、市民ニーズに合った事業の優先順位を定め、魅力ある施策を進めていきます。
- 地球温暖化対策の強化を最重点プロジェクトに追加してほしい。
  - ➔重点プロジェクトの1つである「サステナブル都市」プロジェクトでは、「環境保全」「緑・農地の保全」「経済発展」「社会・文化」「交通・エネルギー」の5つの視点を統合的に包含し活力ある地域となるような施策展開を目指しています。地球温暖化対策に向けた省エネルギー対策や再生可能エネルギーの利用拡大など、環境面にも配慮した施策を進めていきます。
- 新川防災公園・多機能複合施設は、整備に税金をたくさん使い、ランニングコストもかかるため中止してほしい。
  - ➔三鷹中央防災公園・元気創造プラザの整備については、耐震性に課題のある老朽化した施設の安全性を確保するため、都市再生プロジェクトの中核的事業として取り組んでいます。事業の推進に当たっては、開館時間の拡大や質の高いサービスの提供により、時間・面積当たりのコスト削減を図るなど、効率的な運営に努めていきます。
- 災害への対策と国際化について、震災経験都市を参考に、現行の施策や事業の体系を再評価してほしい。
  - ➔「第1部-第1 国際化の推進」および「第3部-第4 災害に強いまちづくりの推進」の施策や事業の体系については、「計画改定の背景と施策の方向」に記載の「東日本大震災以降の危機管理意識の高まりと広がり」など7つの背景を踏まえ、三鷹市地域防災計画などと連携を図り定めています。
- 三鷹の農業の安全性向上を図るため、慣行農業から有機農業、自然農への転換を図ってほしい。
  - ➔「第2部-第2 都市型農業の育成」の体系である「魅力ある都市農業の育成」の中で、環境保全型農業の推進として、有機肥料や低農薬農業の支援を記載しています。

- 三鷹駅前南口中央通り東地区再開発の事業化に向けて、回遊性にぎわい創出していくための多世代向けのイベント広場として活用するために、市民意見を聞く場を設けてほしい。整備に当たっては、商業発展や緑と水の公園都市の視点を投入して整備してほしい。
  - ➔三鷹駅前南口中央通り東地区では、第一種市街地再開発事業に向けて、市も地権者として協議会に参加し、合意形成および施設計画の検討を進めています。今後、権利関係者の合意形成などが進み、都市計画等を定める際に、市ホームページなどでお知らせするとともに広くご意見を伺っていきます。
- 井口特設グラウンドは、野球・サッカーなどができる場であり災害時の一時避難所でもあるので売却しないでほしい。
  - ➔井口特設グラウンドは、総合スポーツセンター(仮称)の建設用地として確保し、事業開始までの間、暫定的にグラウンドとして利用していただきました。三鷹中央防災公園・元気創造プラザ事業を推進していることや、市所有資産の売却を進めるべきとの声もあることから売却の方針としています。売却に当たっては、周辺環境との調和などを十分考慮し、利用者、近隣のみなさんのさまざまな意見も伺いながら進めていきます。なお、大沢野川グラウンドとして活用している野川大沢調節池が、東京都の貯留量増強工事によりおおむね5年にわたり利用ができなくなることから、市内のスポーツ施設の状況を考慮し、井口特設グラウンドの売却時期を計画後期に変更します。
- 東京外かく環状道路は環境破壊につながるのを中止し、福祉に税金を使ってほしい。
  - ➔外環道路は交通渋滞の緩和および大気汚染など環境改善を図るための広域的な交通ネットワークを形成する道路として必要な環状道路です。今後も事業の各段階において、地元住民の方々の意見を聞きながら進めることや、適切な環境整備や環境対策が図られるよう国などに求めています。
- 高齢者がより安心、安全に活動できるように商店街や歩道、神田川沿いにちょっとしたベンチを設置してほしい。
  - ➔「ベンチのあるまちづくりの推進」の中で、ひと休みできる場として、歩道や沿道にベンチ(愛称名：ほっ

- とベンチ)を設置しています。本事業は、事業の趣旨に賛同してくれる方の温かい寄付により実施していますので、今後も事業のPRに努めていきます。
- 地域での活動の場や高齢者・障がい者の住まい、オリンピック・パラリンピックを見据えた民泊への対応など、地域課題を解決するための総合的な空き家の対策・対応を進めてほしい。
  - ➔「空き家対策の推進」の中で、適切に管理されていない空き家については、周辺の住環境に影響を及ぼす防犯、防災、衛生面に対し、市内外の関係機関との連携や所有者などによる自主的な対応を促す取り組みを進めます。また、空き家を活用した手法については、事業実施の課題などを整理し研究していきます。
- コミュニティバスの路線を見直してほしい。
  - ➔「都市再生と連携したみたかバスネットの推進」の中で、「コミュニティバス事業基本方針」に基づき、路線バスと補完交通としてのコミュニティバスの役割分担を踏まえ、交通不便地域の改善などの地域特性に合わせたコミュニティバスの運行に向けて、バスルートの見直しなどを進めます。
- 温暖化対策や省エネ創エネ啓発活動に取り組む市民活動との連携や活動支援をしてほしい。
  - ➔「第4部-第1 環境保全の推進」の「推進体制の整備」の中で、「市民・事業者・NPO等との連携の強化」を記載していますので、引き続き推進していきます。
- 資源循環型ごみ処理の推進として余熱を利用したエネルギー回収を推進してほしい。
  - ➔「第4部-第2 資源循環型ごみ処理の推進」の主要事業として、クリーンプラザふじみの安定的な運営における、ごみ焼却の際に発生する熱を利用したエネルギー回収の推進を記載しています。今後、三鷹中央防災公園・元気創造プラザにおいて、ごみ焼却の際に発生する熱を利用した電気と温水の利用をしていきます。
- 介護認定に関係なく年齢だけでも入所できる介護施設を作してほしい。
  - ➔介護施設は要介護認定のある方を対象としており、制度上、年齢だけでの入居は困難ですが、高齢者が地域で安心して暮らし続けられるよう、多様な住まいの誘導・促進について取り組んでいきます。